

uniform × CO2 × cotton

UNIC^{CO2}2014

4班 たこやき 



脱炭素について(背景)



▶ 現在、世界的に注目される「炭素問題」

人々や企業が炭素を多く排出していることで地球温暖化が加速しており、その最大の原因である温室効果ガスの削減が求められる。

そこで...

脱炭素社会を実現するために

二酸化炭素排出実質 0の**カーボンニュートラル**を目指す



化石燃料依存からの脱却



森林保全



地域社会での実現性



企業の介入

アイデアの概要



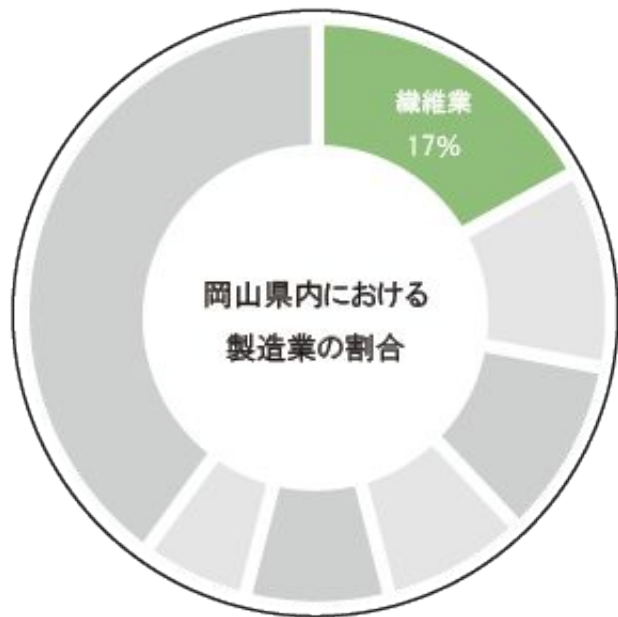
オーガニックコットンで多くの制服を作成し、
適宜中古の制服を回収して新たな制服にリサイクルすることで、
廃棄時に排出される炭素の抑制を目指す

岡山県の産業第1位の「**繊維業**」、そして岡山県で全国出荷率第1位の「**学生服**」に着目。

繊維業では、繊維（衣服等）廃棄時に多くの炭素を排出するため、

リサイクルを活発に行うことで大幅に炭素排出量をカットできると熟考。

アイデア(背景)



繊維業におけるCO2排出量は**約810万トン**

繊維業は岡山県内産業において**第1位**

アイデアの図解

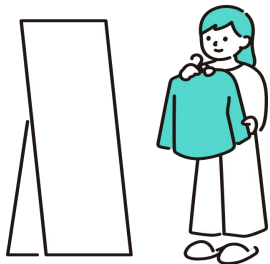
C to E to B !



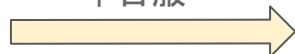
- 01** 不要なオーガニックコットンの制服を学校に渡す **02** ユーザから受け取った衣服を企業に渡す **03** 不要な衣服を制服にリサイクルし、販売実施

リサイクルの実現

ユーザ(学生)



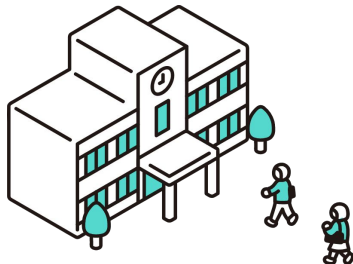
中古服



返礼品



学校



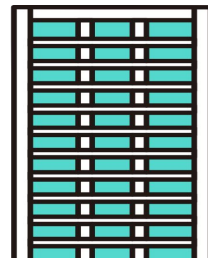
中古服



返礼品



繊維業(企業)



返礼品の実現

- 03** 返礼品として学校から靴下がもらえる **02** 企業からユーザに渡す返礼品を受け取る **01** 学校にユーザへの返礼品を渡す

独創性・新規性



01 C to E to Bの実現



消費者と企業だけでなく、地域社会も介入して共に脱炭素化を目指す

02 持続性のあるリサイクル



オーガニックコットンを使用したリサイクルにより、衣服のリサイクルが持続可能になる

03 消費者の意識を高める



返礼品の仕組みによりターゲットとなる消費者の御礼だけでなく意識を高める事が出来る

04 岡山の伝統的な産業に着目



岡山の伝統的な産業に着目した新たな脱炭素化の取り組みである。

実現可能性



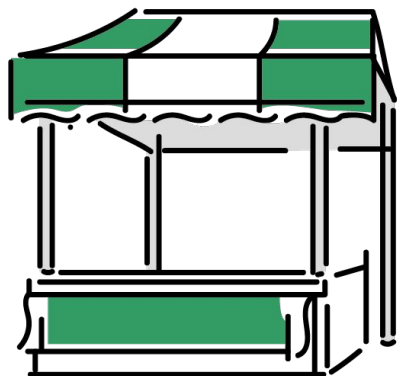
繊維の実現可能性

◇オーガニックコットンを100% (トルコなどの輸入品を使用)

◇コスト面について

- ・繊維工場、技術などは既に備わっている
- ・再利用における資源の削減

→サービスの効果により許容できる範囲であると推定



リサイクルの実現可能性

◇学期末に学生対象のイベントを開催

- ・制服を学校に提出、学校側が一括して企業へ送る

◇PR方法

- ・ポスターや配布プリント
- ・イベント開催の呼びかけ



もう一つのコンセプトとして...

学生のリサイクル関心度を高める



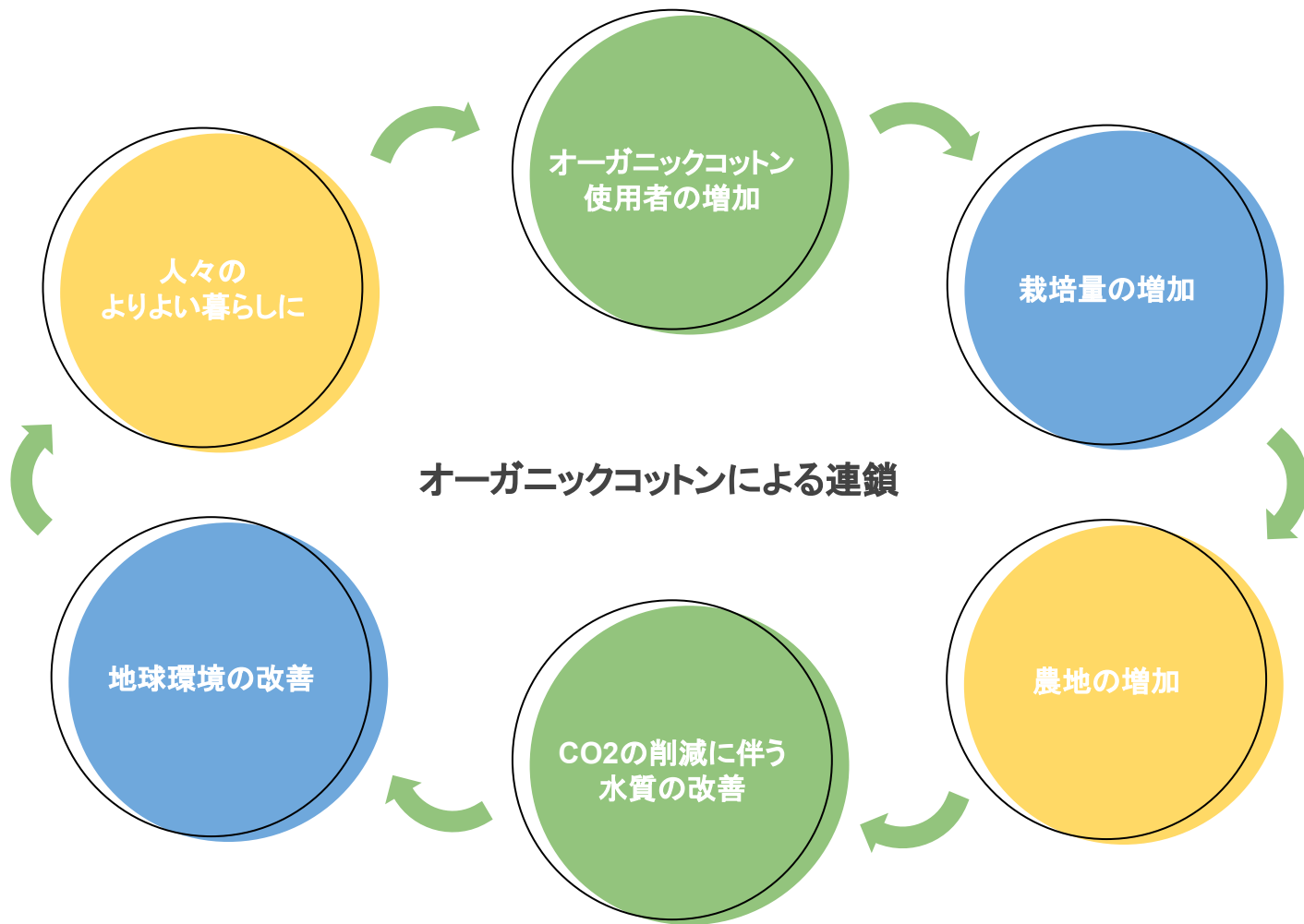
寄付者に対して返礼品を贈呈

例)・繊維くずで生み出す ”ハンガー”
・オーガニックコットン素材の ”靴下”



オーガニックコットンにより
衣服の焼却時に排出される炭素量を抑える





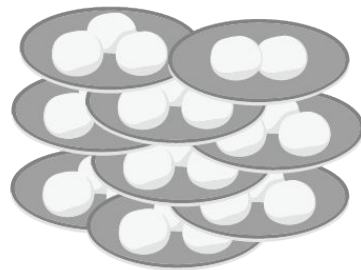
環境への貢献度



▶焼却段階でブラウス1枚(約200g)につき約400gのCO2排出



きびだんご26個分



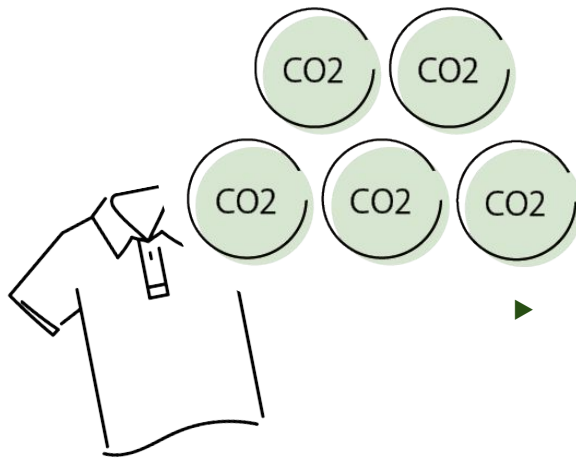
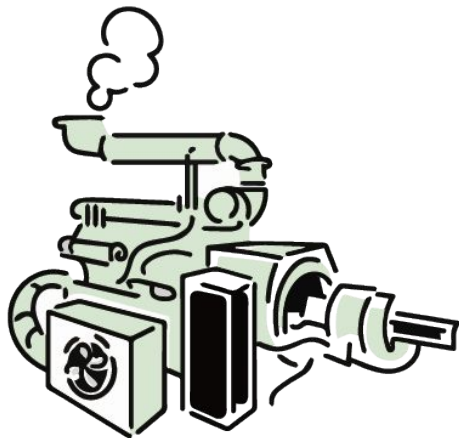
ペットボトル0.5本分



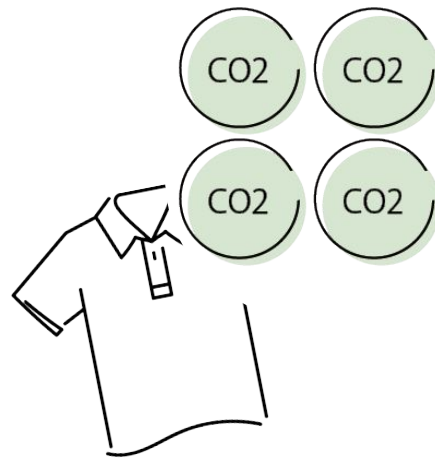
環境への貢献度



▶作成段階で生じるCO2の排出を **約20%** カット



化学薬品を用いた従来品



オーガニックコットン

参考文献



- NUNOS 布のアップサイクル
- HATCH 繊維産業による環境汚染
- FACTELIER オーガニックコットン
- VOGUE サステナビリティ
- ソトコト 学生服のシェア



ご清聴ありがとうございました！

